

情報かわら版

11
2024

- ▶新潟県の畜産女子の取組を紹介！
縁の下の力持ち畜産を支える獣医師の仕事
- ▶新潟市南区の農業体験教育を取材
「AGRIREX（アグリレックス）」で、ルレクチエを収穫
- ▶農業高校で畜産を学ぶ学生が
家畜審査競技会に挑戦して知ったこと
- ▶お知らせ
「スマート農業推進フォーラム2024 in 北陸」
農業者年金オンラインセミナー
有機農業の日（オーガニックデイ）

電子版はこちら



今月の表紙：りんご（新潟市南区）

06

新潟県の畜産女子の
取組を紹介します！



家畜保健衛生所の伝染病対策

鳥インフルエンザの防疫対策が本格化する今の季節、裕子さんが勤務する家畜保健衛生所では、伝染病を未然に防ぐため農場への立入調査・指導に力を入れています。県内の農場に直接赴いて衛生管理体制を確認し、伝染病予防のためにできることがあれば農家さんに対し指導を行います。

この衛生指導の難しさは、絶対が無いことにあります。どんなに気を付けていても伝染病が発生する可能性はゼロにはなりませんし、実行した対策が実際に効果を発揮したかどうか確かめられないことです。また、農場の規模や人員などの環境によって実現可能な対策に違いがあります。

複雑な実情と農家さんの気持ちに寄り添いながら、農家さんと一緒に対策を考えています。提案を農家さんが受け入れてくれたときや、対策が上手くいって農家さんに感謝されたときに達成感を感じるそうです。農場への直接的な指導のほかにも、様々な伝染病対策を行っています。

畜産農家向けの対策として、注意喚起のパンフレットを作成・配布したり、定期的な自己点検をお願いしたりしています。

畜産以外の関係機関にも協力をお願いします。新潟県は米の生産が盛んで水田が多いため、農業用のため池も広く存在します。養鶏場近くのため池に鳥インフルエンザウイルスを保有している可能性のある水鳥が入れないよう、冬はため池の水を抜いたり水面に鳥よけ用のテグスを張ったりしてもらえよう働きか

けています。

また、伝染病が発生してしまった時にスムーズにまん延防止措置が講じられるよう、行政を対象に訓練も行っています。新潟県拠点でも10月に、家畜保健衛生所の指導のもとで講義を受け、防護服の着脱訓練を行いました。



▲拠点で行われた防護服着脱訓練

裕子さんから皆さんへ

10月26日に、県内で今シーズン1例目の鳥インフルエンザが発生しました。10月～翌年5月の間は野鳥の飛来が多くなり、それに伴い鳥インフルエンザ発生危険性も高くなります。家畜伝染病対策に終わりは無く難しい問題ではありますが、発生リスクを少しでも下げられるよう、衛生管理の徹底や異常鶏発見時の即時通報など、今後とも対策へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

また、鳥インフルエンザが発生してしまったとしても、感染した鶏卵や鶏肉が市場に出回ることはなく、鶏卵や鶏肉を食べることにより鳥インフルエンザに感染することはありませんので、消費者の皆さまは安心して畜産物をお買い求めください。

縁の下の力持ち 畜産を支える 獣医師の仕事

今回は獣医師の大勝裕子さんにお話を伺いました。

裕子さんは新潟市西蒲区にある中央家畜保健衛生所に獣医師として勤務されています。新潟の畜産を衛生面から支える家畜保健衛生所の仕事について、詳しく聞きました。

家畜保健衛生所とは？

家畜保健衛生所では、畜産振興を目的に、農場の衛生管理指導、病気になってしまった家畜の詳しい診断などを行っています。都道府県が設置する機関で、新潟県内には支所を含めて5か所の家畜保健衛生所があります。



▲鶏卵を使ったウイルス検査の様子

アルビレックス新潟×新潟県内の高校生による ルレクチェの収穫作業に密着！

アルビレックス新潟は、新潟市南区との農業体験教育「AGRIREX（アグリレックス）」※の一環として10月29日（火）に、奥村仁選手、石山青空選手が同区にある白根グレープガーデンを訪問し、新潟県立白根高等学校の生徒と一緒にルレクチェ（洋ナシ）の収穫作業を行いました。



新潟県立白根高校の生徒と
アルビレックス新潟の選手



収穫の様子

ルレクチェは実を少し持ち上げると取れますが、中腰姿勢での作業のため、腰が痛くなり時々伸ばしながらの作業でした。

「AGRIREX（アグリレックス）」では南区の特産であるルレクチェの栽培体験として、5月は「摘果（不要な実を間引く作業）」、6月は「袋かけ」そして、今回の収穫を迎えました。

参加した生徒からは、「前回の袋かけ作業は難しかったが、無事収穫ができてよかった。」などの感想がありました。また、ルレクチェ栽培の作業体験をきっかけに、地域の農産物を気にかけるようになったそうです。

両選手は、今回までの作業をとおして「今まで作業体験したルレクチェを収穫し、成果を感じることができた。」「摘果の時、しゃがんでの作業が大変で、農家の方の苦労を体験出来てよかった。」そして、約1ヵ月間追熟させたルレクチェを食べられることを楽しみとコメントがありました。

ルレクチェは傷つきやすいため、選別・追熟など収穫後の作業にも気を使いながら、11月下旬頃から出荷（販売解禁日）となります。©1997 A.N.INC.



※アルビレックス新潟では、児童・生徒並びにアルビレックス新潟の選手の人材育成・地域の魅力発信を目的に、新潟市南区と連携した農業体験教室「AGRIREX（アグリレックス）」を実施しています。

全国ジビエフェアを開催します！ ～ジビエの季節がやってきました！～



開催時期

令和6年11月1日（金曜日）から令和7年2月28日（金曜日）まで

全国ジビエフェア特設サイト

「全国ジビエフェア」の特設サイト（<https://www.gibier-fair.jp/>）で、ジビエの魅力やジビエメニューの食べられるお店・ジビエ等商品の買えるお店の情報が検索できます。参加店は随時追加・更新されます。

（※フェア期間中も参加店舗を募集しています。）

農林水産省は、ジビエ（野生鳥獣肉）の普及、需要拡大に向け、全国ジビエフェアを開催します。ジビエメニューを提供する全国の飲食店やご当地フェア等の情報を特設サイトで紹介していますので、この機会にぜひジビエを楽しんでみてください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/241101.html>





6月中旬に新潟県学校農業クラブ連盟主催で行われた家畜審査競技県大会乳用牛の部にて、長岡農業高等学校2年生の黒田実乃里さんが個人の部最優秀賞を受賞しました。

また、黒田さんは10月22日-24日に岩手県で開催された第75回日本学校農業クラブ全国大会の一種目である家畜審査競技会に県代表として出場し、全国の代表生徒と審査の目を競い合いました。

今回、長岡農業高等学校を訪問し、全国大会の感想や今後やりたいことについてお話を聞きました。

家畜審査競技会とは？

今回の全国大会で出題された牛は、成牛4頭と子牛4頭です。それぞれの牛を総合的に比較し、順位づけを行う競技です。また成牛では指定された部位も比較し、順位づけを行います。

▶ 審査の様子



全国大会に向けて
どんな準備をしましたか？

残念ながら学校では乳牛を飼育していないため、直接診たり触ったりすることができません。なので審査教本や過去の共進会で優勝した牛の写真を見て勉強しました。また県の畜産試験場の子牛を使って試験場の先生方から教えてもらったことを復習しました。

01



全国大会に出た感想を
教えてください

出題された成牛・子牛ともレベルが高く、順位を付けることが難しかったです。自分の解答と模範解答がどのくらいあっているか？結果が出るまでとても不安でした。

残念ながら入賞することができませんでしたが、乳牛について深く勉強することができ、今後役に立てていきたいです。



02



全国大会では家畜審査競技会以外にも様々な種目がありました。
興味を持ったものはありますか？

最終日の式典で意見発表やプロジェクト発表の最優秀賞を受賞した発表があり、どれも素晴らしいものばかりでした。特に「乳牛から発生したメタンガス削減の取り組み」をまとめた発表が印象に残っています。高校生でありながら牛にも環境にも優しい経営を実現させようと活動していることに感銘を受け、「同じ乳牛でも色々な見方がある。」と思いました。

03



今後やってみたいことがあれば
教えてください

今回の会場が広大な山間地で牧草地や放牧地として酪農経営をしていること。生産された乳製品や肉などの販売、堆肥からの発電などの様子を紹介してもらい、いろいろな取組に驚きました。

その牧場では研修センターもあるので、学校では体験できない搾乳や飼育方法を実際に学びに行きたいです。

04

「スマート農業推進フォーラム2024 in 北陸」 ～スマート農業技術の活用で「みどりの食料システム戦略」を促進～

北陸農政局は、令和6年12月20日（金曜日）に「スマート農業推進フォーラム2024 in 北陸」を開催します。（会場及びオンライン開催）
本フォーラムでは、「スマート農業実証プロジェクト」の最新の成果を紹介するとともに、今年成立した「スマート農業技術活用促進法」の有効な活用方法を説明いたしますので、スマート農業にご興味のある方、これからスマート農業を学びたい方、この機会にぜひご参加ください。

<開催日時及び開催方法>

開催日時：令和6年12月20日（金曜日） 10時00分～17時00分

開催方法：会場参加とMicrosoft Teamsによるオンライン参加

会場：金沢市文化ホール（金沢市高岡町15-1）

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/pres/s/seisan/241031.html>

<主催>

農林水産省、北陸農政局、農研機構中日本農業研究センター

<募集範囲及び定員>

農業者、農業者団体、企業、地方公共団体、大学、研究機関等

募集定員：会場参加は70名（先着順）、オンライン参加は定員なし



○ 参加申込方法

インターネットにて、以下の申込先に、参加方法（会場又はオンライン）、氏名（ふりがな）、勤務先・所属団体名、連絡先（メールアドレス及び電話番号）等を明記の上、お申込みください。

なお、申込によって得られた個人情報は厳重に管理し、スマート農業関係イベントの運営に限り利用させていただきます。

○ 申込締切

令和6年12月17日（火曜日） 17時00分

会場参加の定員に達した場合は、申込締切前であっても参加申込を締め切らせていただきます。

11月は「和ごはん月間」、11月24日は「和食の日」！ ～身近・手軽な和食を楽しもう！～

「和食の日（11月24日）」を含む11月は、官民協働「Let's! 和ごはんプロジェクト」の集中活動月間である「和ごはん月間」です。プロジェクトメンバー間の連携企画、各種イベント等を実施します。

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/241030.html>



#11月は和ごはん月間

いい にほんしょく

#11月24日は和食の日



《和食の日（11月24日）》「いい（11）に（2）ほんしょ（4）く」と読む語呂合わせから、一般社団法人和食文化国民会議が制定。

うちの郷土料理



Let's! 和ごはんプロジェクト



農業者だけの特権です。

「知って得する！！」

農業者年金 オンラインセミナー

参加費無料
事前登録制

～ほったらかし・低リスク投資で老後の資産形成
大きな税制優遇措置もある～

本セミナーでは、農業者年金の資産運用の特徴や大きな税制優遇措置などについて解説します。また、セミナー中は、リアルタイムで質問も受け付けます。

農業者年金や投資・運用などにご興味がある農業者の方は、この機会に是非ご参加ください！！



特にこんな農業者にオススメです！

1. 農業者年金って聞いたことがあるけど、内容がよくわからない方
2. 投資を始めたいけど、運用商品の選択が難しいと感じている方
3. 有効な税制優遇措置をお探し中の方



開催日時
令和6年12月11日(水)
15:00-16:00

- ※1 Webでのオンライン開催（Zoomを使用）となりますので、PCやタブレットなどの端末及びインターネット回線が必要です。
- ※2 災害等の状況によっては、セミナー内容の変更又は中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※3 農業者の仲間やご家族などをお誘い合わせの上、1つのPCで複数人でご参加いただくことも可能です。



講師
（株）GSTELLA ENTERPRISE
代表取締役 **堀口 浩**

32年間に在籍した（一社）岐阜県農業会議で、農地制度、経営対策及び農業者年金等の各種事業、農業法人協会等農業経営者組織の運営を担当。その後、独立。これまでの知見を活かし、現在は農業経営に関するアドバイスや各種講演を行うなど幅広く活躍中。



- 平成18年5月 AFP（日本FP協会）
- 平成20年5月 経営専門相談員（全国農業会議所）
- 平成22年5月 農地専門相談員（全国農業会議所）
- 令和6年5月（株）GSTELLA ENTERPRISE 設立
- （主な著書（編集協力））「農業法人の設立」（全国農業会議所）
- 「農業法人化マニュアル」（全国農業会議所）
- 「よくわかる農家の青色申告」（全国農業会議所）



お申し込み方法

以下の二次元コードを読み取っていただくか、下記URLにアクセスしていただき、予約フォームに必要事項を記入の上、お申し込みください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_A7ofmMwXTBwLsIiY3ysHQ



先着500名様、限定！
申込締切：12月10日（火）まで（ただし、定員に達した場合は、申込みを締め切ります。）
申込みはお早めに！

※ 受講方法等の詳細については、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご案内いたします。



独立行政法人
農業者年金基金 企画調整室

お問い合わせ

☎ 03-3502-3942（令和6年11月1日まで）
03-5919-0332（令和6年11月5日から）
※事務所移転により、電話番号が変更となります。 5

農業者年金に関する詳細はHPをご覧ください。

🔍 <https://www.nounen.go.jp/>

オーガニックデイ
12月8日は「有機農業の日」



有機農業の日

「有機農業の日」
って知ってる？

2006年12月8日に有機農業推進法が成立してから10周年を記念し、2016年に、12月8日が記念日「有機農業の日」として制定されました。

有機農業って
“やさしい”農業

有機農業とは、化学肥料や化学農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培方法です。土壌環境や生物の多様性など、農業生態系を守ることにつながります。皆さんの身近なところにも、オーガニックな「モノ」「コト」があふれています。「有機農業の日（オーガニックデイ）」をきっかけに、新しい体験をしてみませんか？

農林水産省

有機農業の日（オーガニックデイ） ～有機農業を盛り上げる取組に 参加しませんか～

「有機農業の日（オーガニックデイ）」
※特別期間：令和6年11月18日（月曜日）
～12月13日（金曜日）
※特別期間中、「学校給食での有機農産物の利用」、「有機食品の販売促進の取組」を推進すると共に、「有機農業関連イベント」をご紹介します！

「有機農業の日」の取組イメージ

「有機農業の日」特別期間：令和6年11月18日（月）～12月13日（金）

学校給食での利用

- 特別期間中1日でもOK！
- 品目問わず、一品の導入でもOK！



<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yuki1208/schoolefforts.html>

有機食品の販売促進

- 特別期間中1回でもOK！
- （取組例）
有機農業の日のポップやチラシの掲示
有機農産物特設コーナーの設置 など



<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yuki1208/schoolefforts.html>

有機農業関連イベント

- 特別期間中に開催する全国の有機農業関連イベントを募集します！



<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yuki1208/event.html>

「有機農業の日」特設サイト OPENしました！



「有機農業の日」特設サイトに
今すぐアクセス！

左の二次元バーコードを読み取るか、下記のURLを
直接入力してアクセスしてください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yuki1208/yukinohi.html>



有機農産物を使用した学校給食を
提供予定の自治体の紹介



ご賛同企業の
取組内容の紹介



全国各地の有機農業関連の
イベント情報の紹介

日本の農業の未来について考える1日にしませんか？

みどりの食料システム戦略

https://www.maff.go.jp/hokuriku/kikaku/midori_syokuryou/midori_syokuryou_index.html



どうある、日本の「食」

https://www.maff.go.jp/hokuriku/kikaku/attach/pdf/midori_syokuryou_index-24.pdf



いま、私たちにできること

～地産地消を意識する～

私たちの住む北陸地方には、希少な里山里海や棚田など、景観や生態系に優れた地域が多く存在し、トキやコウノトリなどの生息地や中山間地域の景観維持など、地域の環境を守っていくと努力されている農林漁業者の方々があります。

こうした地元の取組を応援するのが、地域で採れたものを地域で消費する「地産地消」です。地産地消は地域の応援だけでなく、食料自給率の向上や農産物・食品の輸送距離を短縮することで二酸化炭素の排出抑制にもつながっています。

～持続可能な環境に配慮したものを消費する～

環境にやさしい農林水産物・食品の利用を拡大することは、持続可能な食料システムの構築につながります。

今回、ご紹介した有機農産物や「みえるらべる」が付いた農産物・食品を選ぶことで、環境に配慮したものの消費が進み、生産の拡大につながります。

～食品ロスを削減する～

家で食品ロスが出ないようにするだけでなく、食べ物を買うお店、食べるお店でも食品ロスを減らすことを意識することが大切です。例えば、食べ物を買うお店や食べるお店では、奥から商品をどらずに、陳列されている賞味期限の順番に買ったり、賞味期限の近い値引き商品を買ったり、食べきれない分量を注文して、食べ残しを出さなかったり、みんなのちょっとした行動で食品ロスを減らすことができます。

米粉の部屋

～米粉の利用拡大に向けた北陸農政局の取組～

北陸の米粉製品・料理を提供するお店などを紹介する【米粉マップ】や、家庭でも簡単にできる【米粉料理・お菓子のレシピ】などの情報発信を行っています。

また、【ほくりく米粉セミナー】を開催し、米粉の美味しさ・手軽さなど、米粉の魅力を学んでいただきました。

(詳細は、こちらをクリック) ⇒

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/komeko/index.html>



【米粉マップ】(販売店、飲食店を紹介!)

新潟県内の米粉パン、和・洋菓子取扱い店 ⇒



新潟県内の米粉、麺等取扱い店 ⇒



新潟県内の米粉パン、和・洋菓子取扱い店 新潟地域

新潟市

1. ガトシェフ三味堂(洋菓子)
2. アンレミュー(洋菓子)
3. 栗原製菓(洋菓子)
4. マロン洋菓子店(洋菓子)
5. Natural foods ヒ・ミツ基地(洋菓子)
6. パティスリースイ・ニュー(洋菓子)
7. キツヴェキサ(パン・洋菓子)
8. お菓子処 菓菓亭(洋菓子)
9. リトルベア(パン)
10. リトルベア白山浦店(洋菓子)

佐渡市

11. 佐渡農業協同組合(パン)
12. 熊ブチドール(洋菓子)

燕市

32. パティスリーリジュール(洋菓子)

弥彦村

36. 分水堂菓子舗(和菓子)

三泉市

33. ビアンボボロ(洋菓子)
34. ル・パティシエ マルコ(洋菓子)
35. カフェ トゥジュール(洋菓子)

村上市

13. ゆりの会企業組合(パン)
14. 餅菓子司 酒田屋(洋菓子)
15. Titto bakka(ちっとばっか)(洋菓子)

船内市

16. ロイヤル船内パークホテル ベーカリーカフェバウム(パン・洋菓子)
17. 雑タイダイ(パン・パン粉)
18. OKASHI SALON 梅月堂(洋菓子)
19. 飯美月堂(和菓子)
20. 卯月堂菓子舗(和菓子)
21. 黒田屋菓子舗(洋菓子)
22. マサヤ菓子舗(洋菓子)
23. たかたや菓子舗(洋菓子)
24. 東屋菓子舗(和菓子)
25. 乙まんじゅうや(和菓子)
26. ほっかほっか(和菓子)

新発田市

27. ホン・タケダ(パン)
28. とんとんパン工房(パン)

阿賀野市

29. G・H・エリカーノ(洋菓子)

五泉市

30. ベンタブルズ(洋菓子)
31. 酒井米店 クレープ・はなちゃん(洋菓子)

【米粉料理・お菓子のレシピ】(家庭で簡単に!)

WAGOME代表 小林順子氏提供
米粉とさつまいものもちもちドーナツ



米粉のもっちりココナッツゼリー



料理教室いづみ庵代表講師 日置いづみ氏提供

米粉のニョッキと麵の米粉ムニエル



荒島ポークの米粉蒸し



【ほくりく米粉セミナー】 (魅力や料理のコツを伝授!)

https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/komeko/seminar_2024.html



講師、調理指導：
米粉料理研究家
村井 公美 氏
(令和6年7月20日開催)

お問い合わせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者(地域の担い手や若手農業者、女性農業者など)の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

